

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。  
本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。  
取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法是十分に理解した上で正しくお使い下さい。  
この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。

## ● はじめに

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を読み、注意事項、使用方法を十分にご理解頂いた上で正しくご使用下さい。又、本製品は間違った使い方をされると、人的障害や物的障害が生じる他重大な事故に発展する恐れがあります。



## 注 意 (ラジエターキャップ&タンクテスター)

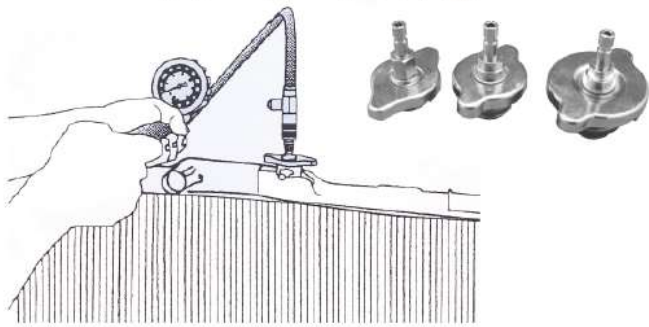
1. ラジエターのキャップを開けます。(※ラジエターが高温の場合は、開けないで下さい。)
2. 各車種に適応するアダプターを選択して下さい。
3. 手動ポンプにアダプターを接続し、ラジエターに取り付けます。
4. ポンプで加圧し、100~130 kPaで保持します。
5. 圧力が低下する場合は、ラジエターを点検してください。冷却水が漏れている可能性があります。
6. テスト終了後、排圧弁で圧力を抜き、メーターが0になるのを確認して下さい。  
(降圧時、排圧弁より水が出る場合は2~3分待って排圧してください)
7. 使用後、ケースに収納する前にポンプと接続して、2~3回加圧しホース内部の水を排出して収納して下さい。
8. 使用後は、毎回ポンプの末端の穴にグリースを注入してピストンを潤滑させてください。
9. 圧力テストセットは綺麗に保管し、使用時も十分気を付けて使用してください。



## 注 意 (クーラントチェンジャー)

1. ガソリン等の揮発性剤には使用しないで下さい。
2. 冷却水注入作業以外には使用しないで下さい。(冷却水抜取作業には使用しないで下さい。)
3. エンジンと冷却水が冷間状態でご使用下さい。冷却水温 30℃以上で作業しないで下さい。
4. 水道水、LLC (自動車メーカー指定品) 以外使用しないで下さい。
5. エアーホース接続前に、負圧計の針がゼロ位置にある事をご確認下さい。
6. 負圧計が安定しない場合は、使用しないで下さい。
7. コーンプラグを使用する際は、注入が終わるまで車両の注水口に押し付け、保持して下さい。
8. 作業が終了したらエアーホースを取り外して下さい。
9. 入力されるエアーは水分を多量に含んでいると、発生負圧が上限に達しなかったり、到達後針が戻る場合があります。該当する症状が出たら、ご使用のエアーコンプレッサーの水抜きを十分に行ってください。

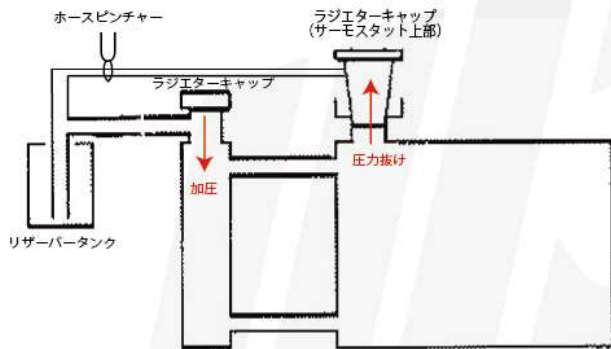
## ラジエーターテスト時



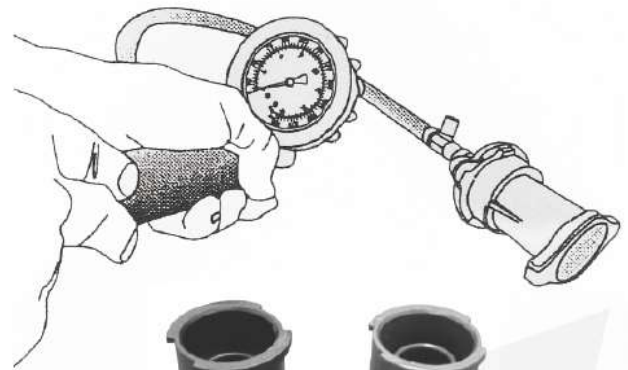
サイズの合うアダプターを使用してください。

### ※スズキ エブリィ・キャリィ加圧出来ない場合

ラジエーター部とサーモスタット上部の二か所にラジエーターキャップが付いています。(一部年式)  
ラジエーター部より加圧するとサーモスタットのキャップよりリザーバータンクへと圧力が抜けてしまいます。  
リザーバータンクとサーモスタット間のホースをクランプし流路を遮断してください。



## キャップテスト時



一般的なラジエーターキャップには最高圧力の表記がありますので、それ以上圧力を掛けないでください。

タイプ	メーカー別キャップ相当品番						JTCキャップ・アダプター		キャップアダプターサイズ
	NTK 品番	SPAC	FUTABA	DOREC	DJ/DENSO	HKT	ラジエーターアダプター	キャップアダプター (車輛側)	
大型	P519/P519K	SV51(S)	R123	DR-4	-	RA510/511	3番	青:大径 黒:大径	パッキン36.5キャップ内径:52.4深さ26.4
大型	P529/P529k	SV52(S)	R111/112	RD-2/ DR-5	-	RA520/521			
小型	P539/P539K	SV53(S)	R124	DR-11	S-09/ RS-09	RA530/531	4番	黒:小径	パッキン直径27.9キャップ内径:43.6深さ28.5mm
小型	P541/P541K	SV54(S)	R148	DR-13	S-11	RA540/541	4番	黒:小径	パッキン直径27.9キャップ内径:43.6深さ28.5mm
小型	P559/P559K	SV55(S)	R125	DR-12	N-09	RA550/551	5番	青:小径	パッキン直径27.9キャップ内径:42.2深さ20mm
小型	P561/P561K	SV56(S)	R126	DR-14	N-11	RA560/561	5番	黒:小径	パッキン直径27.9キャップ内径:42.2深さ20mm
小型		SV60					JTC1528-19		パッキン直径20.8ネジ部外径33.4深さ29.3mm

3番



4番



5番



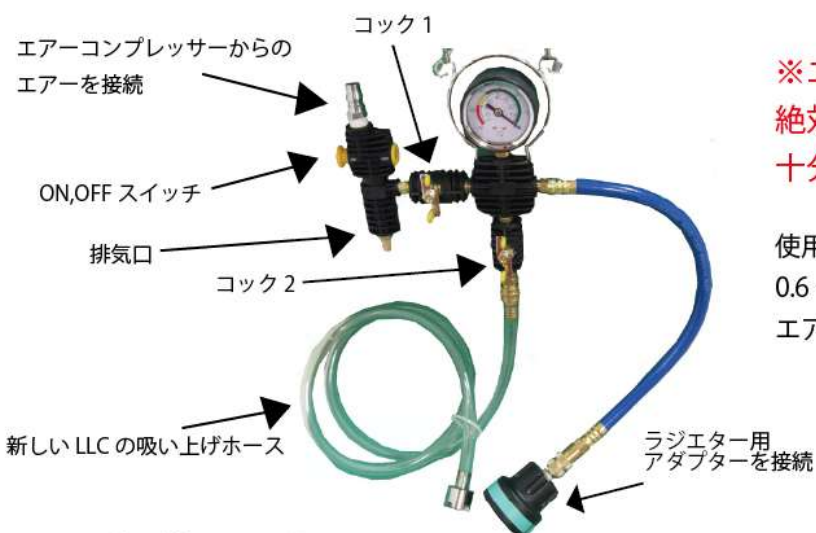
ロックタイプスチールキャップ用

JTC4842A・JTC1414・JTC1236A・A2096に付属

JTC1528-19



トヨタ樹脂製キャップ用  
JTC4842Aに付属  
JTC1528-19



※エンジン及びラジエターが熱い時は絶対に作業しないでください。 やけどをします。十分に冷えた状態で作業してください。

使用時は、エアコンプレッサーのエアー圧を 0.6～0.8MPa (6～8K g f/cm<sup>2</sup>) でご使用ください。エアー圧が高いとラジエターを破損する恐れがあります。

使用する車輛のホース類の劣化がひどい場合は破損する場合があります。御使用をお止めください。

### 作業前の準備

車輛のラジエター内の冷却水はドレンコック等より完全に抜いた状態にしてください。

抜き終わったらドレンコックは閉めてください。

新しく注入する LLC をお手持ちのバケツ等に多めにご用意してください。



### 冷却システム内の真空引き

1) 車輛のラジエターのキャップ接続部分に適合するキャップアダプターを選択してください。

※ラジエターのリザーバタンクへ接続されているホースからエアーを吸い込む場合はホースピンチャー等でホースを閉じてください。



2) 本体に新しい LLC 吸い上げ用ホースを接続します。本体青色のホースに選択したアダプターを接続します。排気口に排気口用ホースを接続します。エアーの接続前にコック 1 とコック 2 を左の写真のように閉じてください。ON,OFF スイッチを OFF にしてください。



3) 車輛のラジエターにアダプターを接続します。新しい LLC 吸い上げホースの先端を新しい LLC を入れたバケツに浸します。(途中でエアーを吸わないようにしてください。)



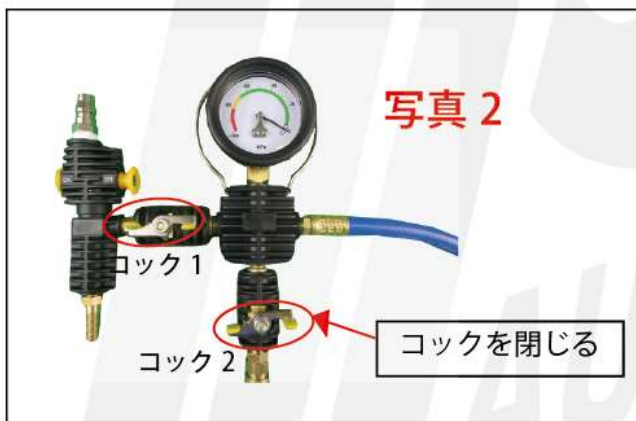
4) 車両のラジエターにしっかりとセットしたら、吸上げホース内のエア抜きをします。エアーコンプレッサーからのエアーを接続します。コック1を開きます。LLC吸上げの為コック2を開きます。ON,OFFスイッチをONにします。(写真1) LLCが吸上がり排出口から排出されホース内にエアーが無い事を確認したらコック2を閉めます。(写真2)



注意！！ (写真3)

エアーをONにするとすぐにLLCを勢い良く吸上げます。一瞬で排出口からエアーとLLCが噴出します。排出口に排出口用ホースを接続して車両や人にかからない様に排出口を下に向けコック2をすぐに閉める事が出来るような状態で作業を行ってください。

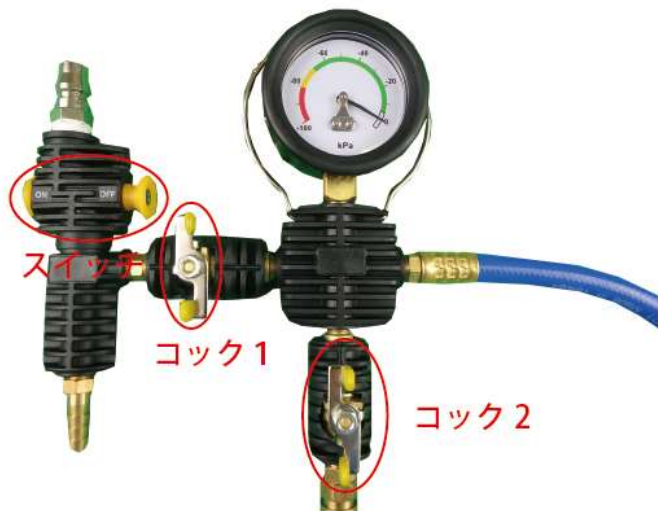
排出口からLLCが排出されてホース内にエアーの混入が無い事を確認してコック2をすぐに閉めてください。エアー抜き不足の場合車両のラジエターにLLCを注入する時にエアーが混入して吸上げ不足になります。



そのまま車両ラジエターの真空引き作業を行います。ラジエター内の空気を吸い上げて真空にして行きます。



※負圧計の針がぶれて針が上がらない時は、エアーを吸って真空になっていません。本体接続部がしっかり密着しているか確認してください。車輛のラジエターのドレン及びホース等が外れていないか確認してください。冷却システムにクーラントの漏れがある時も真空になりません。



5) 負圧計の針が 60 ~ 70 kPa に達したら  
コック 1 を閉めてください。次にスイッチを OFF  
にしてください。次にゆっくりとコック 2 を開きます。  
バケツ内の LLC を吸い上げてラジエーターに注入します。  
空気が混入しないように注意してください。

空気を吸った場合、初めからやり直しになります。

※クーラント注入中に吸い上げ部分が  
クーラント液に浸かっていないと  
システム内にエアーが混入します。  
エアーが混入した場合は、初めからやり直して下さい。

6) メーターが正圧 (0) になったら、クーラントの注入は完了です。  
完了後コック 2 を閉めてください。コック 1 を開いて  
残圧を開放してから本体をラジエーターから取り外してください。

## 適合アダプター

NO.	RADIATOR CAP APPLICATION
0	Thermometer
1	Pressure Testing Pump With Gauge
2A	Connector R123/R124(Black color)
2B	Connector R123/R125(Blue color)
3	Mercedes Benz(W123 · W126 · W124 · W201) GM(Buick) Jeep
4	Peugeot Subaru Chrysler Acura GM (Nova, Spectrum, Sprint) Mitsubishi Nissan Mazda Toyota Infiniti GEO Suzuki Isuzu Mercedes Benz
5	Honda Toyota Suzuki Mitsubishi Chrysler Acura Lexus

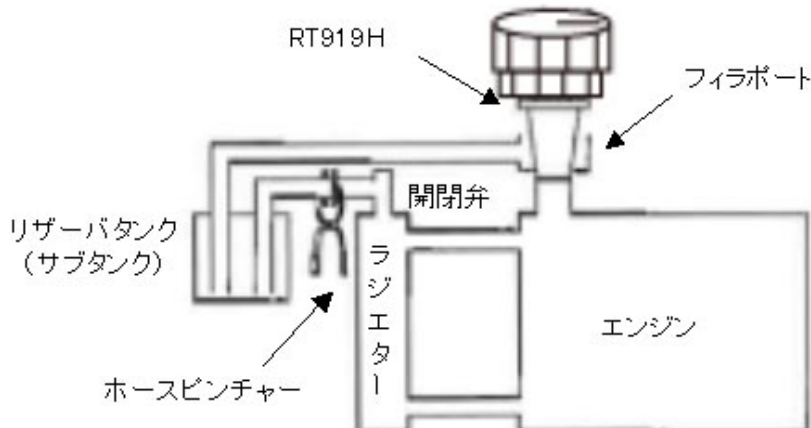
NO.	RADIATOR CAP APPLICATION
6	Mercedes Benz (ML-class · W163 · W164)) GM(Achiva · skylark · grand am-1992~2002)
7	Volvo Saab Sterling Citroen Renault Fiat Alfa Jeep Mini
8	VW(Vento · T4 · Passa-1996 · Golf · Beetle · Sharan)
9	Audi (A4 · A5 · A6) BMW 345 VW (Passa-1997~2002) Porsche (Cayenne)
10	BMW (E46 · E36 · E34 · E39 · E38 · E32 · E90)
11	Audi VW
12	Ford Mondeo International Land Rover Opel Ssangyong motor
13	Mercedes Benz (C-class · E-class · S-class · W140 · W220 · W124 · W210 · W211 · W215 · W216 · W221 · R230)
14	Ford Mondeo,Focus C-MAX03
15	Mazda(M3)
16	Mercedes A-class ( W168)
17	BMW E60, E63, E64, E65
18	VW SHARAN 1.8T2.8
19	TOYOTA-RAV4, PREVIA
20	SAAB

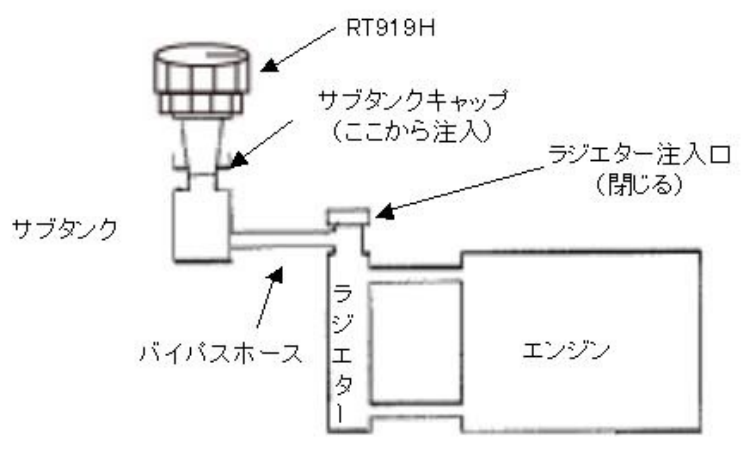
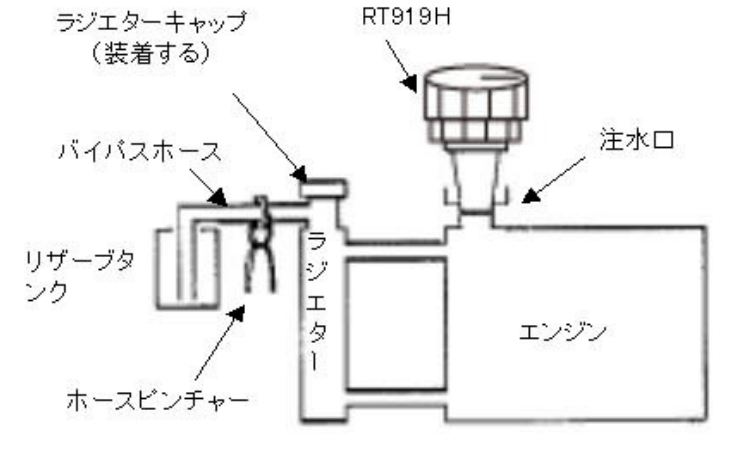
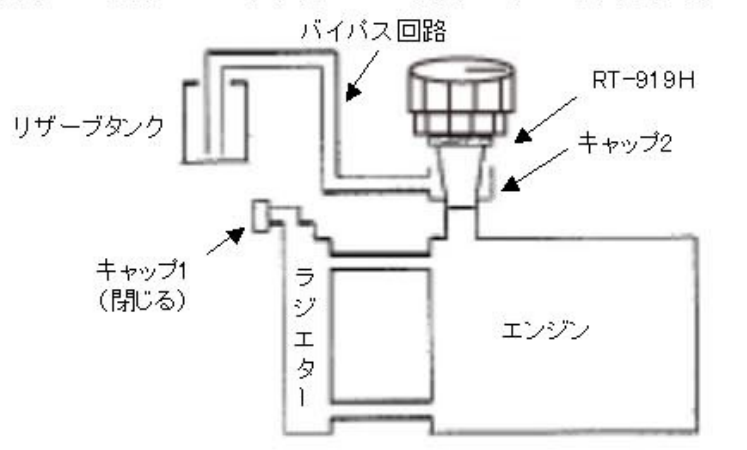
輸入発売元 **JTC Auto Tools** 株式会社

E" M : info@jtcautoools.co.jp

FAX : 0834-36-0010

## 注入時に注意を要する車両

メーカー	車名	型式	注入方法/他
トヨタ	センチュリー	GZG5#系	サブタンク(加圧タンク)のラジエターキャップを外し注入して下さい。
	セルシオ	全車	
	マジェスタ	UZS系	
	アリスト	UZS系	
	ソアラ	UZZ3#系	
	ウィンダム	VCV1#系	ラジエターとリザーブタンク(サブタンク)を繋ぐホースを閉塞させ、シリンダブロック側のフィラポートから注入して下さい。
			
日産	プレジデント	G50	ラジエター側から注入して下さい。
	インフィニティQ45	G50	
	シーマ/レパード	Y33、Y32	VH41 DEエンジン搭載車のみ同上。
	ラルゴ/セレナ	W30/C23	<p>ディーゼル車(ラルゴ・セレナ共通): 加圧タンクから注入して下さい。</p> <p>ガソリン車(セレナ): 助手席のシートを起し、エンジンルームを開けると、エンジン左側にラジエターキャップがあるので、ここから注入して下さい。</p> <p>ガソリン車(ラルゴ): リザーブタンクへ接続されているホースとラジエターキャップ首元へ接続されているホースをホースピンチャーで閉塞させ、フィラネックから注入して下さい。</p> <p>注) 注入時は出来るだけ真空度を高めて下さい。 注) フロントヒーター注水口は腐食している場合が多く、コーンプラグとの密着漏れ、冷却水チャージャーの作動不良の原因となる場合があります。 注) 新型セレナ(C24)は冷却系構造が改良され、注入時の問題は解消されています。</p>
ホンダ	アクティ	リヤエンジン車	サーモハウジングへのホースとラジエターへのホースを外し、エンジン付近の冷却水を排出(真空引き時の吹返防止)してからホースを元に戻し、助手席ダッシュボード下(現行車はフード内)の注入口から注入して下さい。 冷却水注入後、各車両の修理書に従いエア抜きのプラグからエア抜きを実施してください。エアが抜け冷却水が出るのを確認してください。
	ビート		サーモハウジングへのホースを外し、エンジン付近の冷却水を排出(真空引き時の拭返防止)してからホースを元に戻し、エンジン側の注入口から注入して下さい。

メーカー	車名	型式	注入方法/他
マツダ	ボンゴフレンドィ フォードフリーダ	SG	<p>サブタンク(加圧タンク)から注入します。(下図参照)</p>  <p>注) サブタンクの上限レベルより上まで冷却水が注入されるので、スポイト等で冷却水を吸い出し、液量レベルを調整して下さい。</p>
RX-7 V6FF車		FD	<p>シリンダブロック側注入口から注入する場合は、ラジエター側のラジエターキャップを装着し、バイパスホースをピンチオフツールで閉塞して下さい。(下図参照)</p> 
	スクラム		キャリー/エプリーに同じ
三菱	ミニキャブ	リヤエンジン車	サーモハウジングへのホースとラジエターへのホースを外し、エンジン付近の冷却水を排出(真空引き時の拭返防止)してからホースを元に戻し、冷却水を注入して下さい。
スバル	サンバー/ドミンゴ	リヤエンジン車	冷却水注入後、各車両の修理書に従いエア抜きのプラグからエア抜きを実施して下さい。エアが抜け冷却水が出るのを確認して下さい。
ダイハツ	アトレー	ターボ車	<p>キャップ1は装着したまま、キャップ2から注入して下さい。(下図参照)</p>  <p>注) キャップAから作業する場合は、バイパス回路をホースピンチャーで閉塞させて下さい。</p>
スズキ	キャリー/エプリー	リヤエンジン車	サーモハウジングへのホースとラジエターへのホースを外し、エンジン付近の冷却水を排出(真空引き時の拭返防止)してからホースを元に戻し、冷却水を注入して下さい。ターボ車はリザーブタンクへのホースを閉塞させて下さい。